

おもな記事

第二面 春の大そうじ、広報ガイド、市民のしおり
第二・七面 写真でみる市政
第一面 市政日記
第八面 お知らせコーナー、あたたかいこころ、灰ケケン物収集日、伝説をの付近

納税組合で

国保税の納入も

国保税を納めるときは、全年度旧市域では国保委員を通じて納入していただきますが、旧市域国保委員制度は、ことし三月三十一日をもって廃止することになりました。したがって、今後の国保税は、一般の市税と同じように納税貯蓄組合を通じて納めていただくこととなります。

なお、四月中旬に四十五年度の国保税第一期・第二期分の納税通知書をお送りしますから、納期内に納めてください。

使っていないバイクや軽自動車などは――

廃車届けを

4月1日が賦課日

あなたのおたくには、使っていないバイクや軽自動車はありませんか。こうした車は、三月三十一日までに廃車手続きをしないと、また四月一日から軽自動車税が賦課されます。

年税額千円以下の軽自動車(原



ことしから、ご町内の衛生協力会長も大そうじ(自治会長・組長)さんに連絡しての季節にしてください。町内の日割表(指定日)は次のとおりです。

3月29日(4月4日) 南橋出張所管内全域(ただし荒牧・南橋団

さあ、春の大そうじです

指定日までにすんだ家庭には
粉剤の床下散布をします――

家具などの物かげや下側の害虫の発生しやすい場所は念いりにそうじをしましょう。

3月22日(28日) 六供町、六供生川、南町二丁目、天川原、文京町四丁目、上川淵出張所管内全域(ただし朝倉・広瀬・山王各団地は除きます) 下川淵出張所

4月19日(25日) 南町一・三・四丁目、文京町一・二・三丁目、天川町、古市町二区三区、光が丘・朝日が丘・大和根・前箱田各団地、石倉町中部、元総社10

4月26日(5月2日) 岩神町一・二・三・四丁目、敷島町、昭和町一・二・三丁目、平和町一・二丁目、住吉町一・二丁目、国領町一・二丁目、若宮町一・二・三・四丁目、城東町一・二・三・四・五丁目。

5月3日(9日) 千代田町一・二・三・四・五丁目、大手町一・二・三丁目、本町一・二・三丁目、紅雲町一・二丁目、三河町一・二丁目、朝日町一・二・三・四丁目、日吉町一・二・三・四丁目。表町一・二丁目。

国保税の納入も

納税組合で

国保委員制度は廃止に

国保税を納めるときは、全年度旧市域では国保委員を通じて納入していただきますが、旧市域国保委員制度は、ことし三月三十一日をもって廃止することになりました。したがって、今後の国保税は、一般の市税と同じように納税貯蓄組合を通じて納めていただくこととなります。

なお、四月中旬に四十五年度の国保税第一期・第二期分の納税通知書をお送りしますから、納期内に納めてください。

使っていないバイクや軽自動車などは――

廃車届けを

4月1日が賦課日

あなたのおたくには、使っていないバイクや軽自動車はありませんか。こうした車は、三月三十一日までに廃車手続きをしないと、また四月一日から軽自動車税が賦課されます。

年税額千円以下の軽自動車(原

広報ガイド

3・4月



(野中町)で廃車手続きをしてください。

防火管理

上級講習会

3月20日水道ホールで

市消防本部では、三月二十日午

児童文化センター

催し

後一時三十分から市水道会館ホールで、防火管理者上級講習会を行います。

幼児教育の本のつどい

市立図書館で

市立図書館では、三月二十五日午前十時から正午まで、「幼児教育の本のつどい」をひらきます。

展示図書は幼児教育関係のもの百五十冊。当日、「新入園、入学児をもつお母さんのために」と題して、群大附属幼稚園鈴木正子さんのお話があります。当日子どもさんの実のなる木の画をお持ちいただければ、それをもとに性格などの診断もいたします。

まえばし 春の植木市



4月3・4・5日 立川町大通り商店街で

市民のしおり

ハンコウについて

わたしたちの生活のなかで、ひじょうに大切なものとして使われているハンコウ。日常の家庭生活でも、社会生活でも、ハンコウは欠かすことができないものです。

さて、このように毎日の生活になくてはならないハンコウ、それだけに安易に考えられがちですが、よく漢印は、大切に扱われ、間違えて使ったり、費用がたかくなる、ふたから心がけましょう。

①ハンコウは、人に預けないで必ず自分で押印しましょう。②ハンコウを押す文書をよく読んで納得してから押印しましょう。③白紙には絶対に押印しないこと。④印の保管は自分で厳重に。⑤捺印をむやみに押さないこと。⑥なくしたハンコウは、みつかったもの後使わないように。なした間に、他人に何かで使われている可能性もありますから……。

ハンコウあれこれ

いろいろな呼びかた、その意味――

漢印	実印	印影	印鑑	印
漢印(判)・印、印章、印形 そのものをいいます。	実印、認印等の総称で、ハンコウそのものをいいます。	みとめ(認印) 日常、あまり重大でないことに用いるハンコウ。	文書などに押したハンコウの「あと」をいいます。	印鑑 あらかじめ、市役所・町村役場などに届け出、もしくは登録をした一定の「印影」のことをいいます。
①重要書類に押す私印。②印鑑を登録もしくは届け出している「ハンコウ」のことをいいます。				

写真でみる

市政一年

《昭和四十四年度のあゆみ》

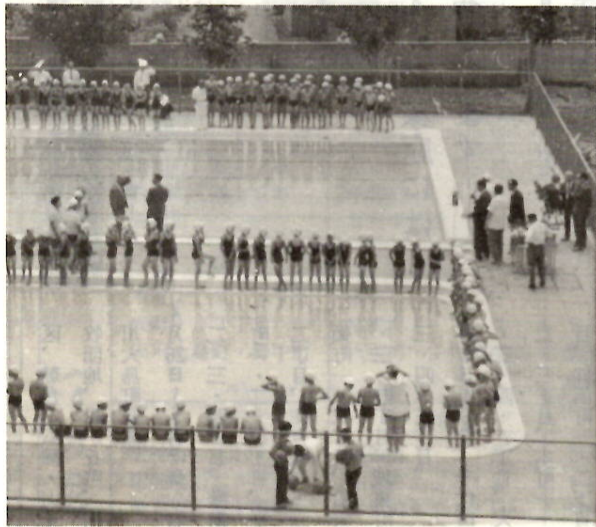
昭和四十四年度も今月で終わります。この一年、わたしたちのまち前橋は、市民のみなさんのご協力により、より充実した都市づくりへ各種の事業をすすめてきました。ここに掲載した写真は、四十四年度、市で行なった各種の行事や建設の状況を『写真でみる・市政一年』として集めたものです。また下欄の『市政日記』は、市民のみなさんと関係の深い、市政一年間の主なできごとをまとめたものです。

一家のみなさんでご覧いただき、お茶の間の話題のひとつに加えていただくとともに、感想やご意見をお寄せくださいますよう、お待ちしております。

明るい教室で学ぶ生徒たち、あすの前橋を背負う、かけがえない人材たちだ。(第三中で)



あすをひらく市民
を育てるために



小・荒子小・大室小を最後に、すべて完了した。(駒形小で)

まえばし・プロフィール

前橋市の人口は、2月現在で 232,891人(男113,373人、女119,518人)、世帯数は60,618、面積は147.39平方キロメートルです。明治25年4月1日、東京・横浜・水戸について関東で4番目の市政施行から、こととして78年目。人口は当時の3万2千人から7.2倍に、市域も7次にわたる隣接町村の編入によって19倍に達しています。



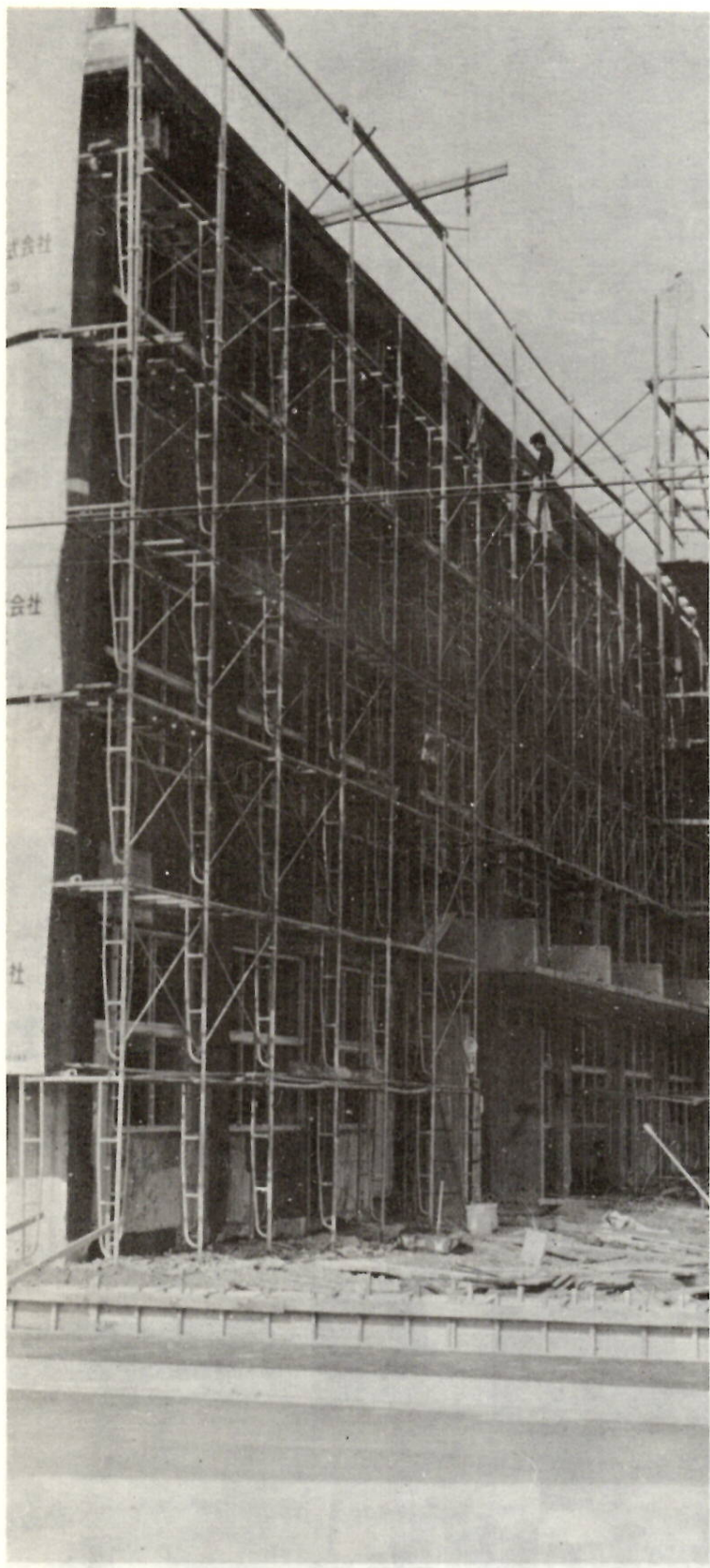
市政日記

4月

- 1日 ■中央児童遊園校まつり(14日まで) ■水道給水栓五万個をこえる(昭和四年、市に水道が敷かれてから四十年目) ■城南地区に水道本管が通じ、箕井町・小屋原町の一部に通水。 ■春の大掃除実施(全市いっせいに、DDT粉剤床下散布、30日まで) ■農業共済損害評価委員・同評価員合わせて百六十五人を委嘱。 ■生活保護基準一三%あがる。 ■総社第二保育園(私立)開園。 ■中川小学校校舎改築工事に着工(43・44年継続事業)
- 2日 ■毎月勤労統計調査・商業動態統計調査・個人企業経済調査はじまる(45年3月までの一年間)
- 4日 ■44年度第一回前橋市宮競輪はじまる(六日間) ■農業共済連絡員四百十四人を委嘱。 ■立川町大通りで春の植木市ひらく(出店百五十軒、三日間)
- 8日 ■市立図書館で自動車文庫「いずみ号」が運行はじまる。 ■後閑町の天神山古墳発掘調査(第三次)を終り、墓坑・粘土埴(かく)を発掘、白銅鏡五つ、鏃三十など、約百六十点を発見。 ■犬の登録、注射を実施(市内の登録犬七千頭)
- 10日 ■市内新入店員講座をひらく(二日間)
- 11日 ■中小企業労働福祉施設資金融資(継続貸付分一千五百五十三万円)
- 18日 ■第二次農業構造改善事業推進地区として木瀬地区を決定する(45年から四か年で実施予定とする) ■荒子小学校プール建設工事に着工(二十五メートル五コース、工費六百五十万円で七月二十九日完成) ■角田金五郎収集資料展示と講演のついでに、天皇賜杯杯式野球大会県予選(二十六チームが参加、三十日まで県営補助グラウンド) ■前橋地区婦人連絡協議会総会。 ■東部環状線舗装工事に着工(市営・三百八十八万円で、六月十日完成) ■第二次農業構造改善地区推進協議会発足(委員43人)
- 26日 ■市立図書館で「家庭園芸の本のついで」をひらく。

5月

- 1日 ■中央児童遊園で市長が一日園長、児童施設の子どもを招待。 ■水道の隔月検針をはじめる(城南地区から市で初めてのところ) ■福祉事務所内に「家庭児童相談室」を設置。 ■日赤募金運動はじまる(31日まで) ■学校基本調査を実施。
- 2日 ■体育協会総会をひらく(中央公民館で)
- 3日 ■第十八回伸びゆく子どものついで(千八百名が参加) ■県下実業式野球大会市予選をひらく(県補助グラウンドに四十九チームが参加、24日まで) ■市民プールで、スポーツ教室水泳コースをひらく。(四百三十人が参加、25日まで)
- 5日 ■中央児童遊園で「子どもの日」を記念し来園児童に祝品。
- 7日 ■連合青年団でバレーボール、野球、ソフトボール、卓球、剣道、柔道、すもうなどの大会をひらく。(7・17・31日)
- 8日 ■市議会経済企画常任委員会をひらく(市税条例の改正などを審議)
- 9日 ■市立図書館で絵本のついで。 ■前橋市小学校PTA連合会総会(中央公民館で)
- 10日 ■水道創設40周年記念式典を敷島浄水場で挙る。 ■農畜水産物流通調査を実施(一か月間)

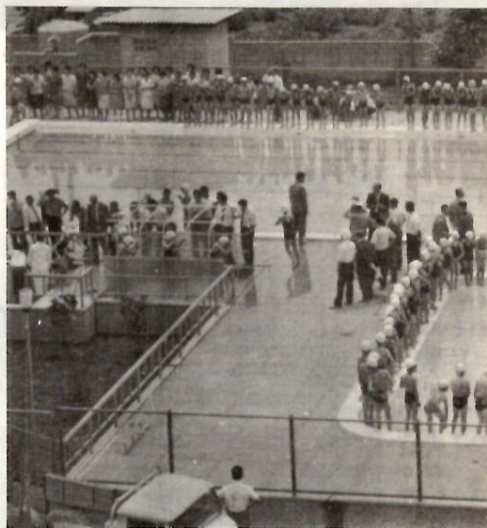


全小学校にプール完成

——●中学校全校に体育館も●——

小学校にプールを、中学校には体育館を—この目標が、ことし荒子小・大室小など、合併した城南地区のプール完成で、すべて達成されました。そのほか44年度中に学校建設では中川小・細井小・桃川小・駒形小の改築、広瀬小が新設、桂萱中・東中に特別教室各2つが完成、若宮小・永明小・養護学校に体育館ができました。

そのほか、社会教育活動や青少年の健全育成など、"あすの市民"を育てるためのしごとが、すすめられてきました。



小学校プールは、駒形

「すすむ学校の 新改築」

教育施設の充実、教育内容の向上と相まって、きわめて大切なこと。44年中に校舎や体育館で10校の新改築が完了した。(広瀬小で)

《市政日記》

- 6月

1日 ■市民プールびらき(9月20日まで) ■農業共済運営協議会委員二十人を委嘱。■下水道の天川ポンプ場が運転開始。

3日 ■市議会教民常任委員会ひらき請願四件を審査。■第11回全国水道週間(1日〜7日)で各水源地の公開、パッキンの無料取り替えを実施。

4日 ■市議会経済企画常任委員会で請願四件ほかを審査。

5日 ■第十三回全国環境衛生大会を本市でひらく。全国から千九百人が参加。

10日 ■日本図書館協会の調査で市立図書館利用冊数全国第一位となる(十萬四千八百冊) ■東部環状線の舗装工事が完成(工費三百八十萬円)

16日 ■肉用豚を貸付(二百七十八頭、四百八十三萬円)

17日 ■コンバインによる麦の収穫はじまる(十日間、二十四アール。前橋農協、桂萱、永明管内で実施) ■市議会全員協議会をひらき、大胡町合併・総合整備十か年計画などを審議

20日 ■市議会六月定例会(議案十三件、報告二件を可決承認、25日まで会期六日間)

26日 ■明るく正しい選挙推進協議会をひらく(従来の委員十三人を六十人に組織がえ) ■成人学校第一期修了(百四十五名)

27日 ■夜間屋外薬割散布(市街地で、8月29日まで五回実施)

28日 ■市立図書館で「クルマの本のついで」をひらく。
- 7月

1日 ■事業所統計・勤労統計調査はじまる(七月中)

4日 ■第2回市営競輪(六日間開催)

8日 ■第21回前橋家具見本市をひらく(県営スポーツセンター)

10日 ■工業団地組合議案をひらき議案二件、報告三件を可決、承認。■水稲病害虫共同防除はじまる(六十日間、二百萬円)

11日 ■若宮幼稚園舎増築工事に着工(鉄筋造り二階建て、のべ九〇平方メートル、工費三百五十萬円。10月31日に完成) ■中小企業機械貸付(四十四件、二千九百五十萬円)

13日 ■市民プールで市民水泳大会をひらく。

15日 ■厚生住宅改良第一次分、西片貝町に完成(鉄筋コンクリート、ブロック造り四階建てのべ一三九三平方メートル、収容四十世帯分。工費四千四百萬円) ■市内中学校夏季体育大会(市内各会場で十三種目。14日から22日まで九日間) ■夏休み地区ラジオ体操の会(市内九十八地区で、八月まで) ■市農業委

“住みよい都市”への 基盤をつくるために

新しい“都市改造”に着手

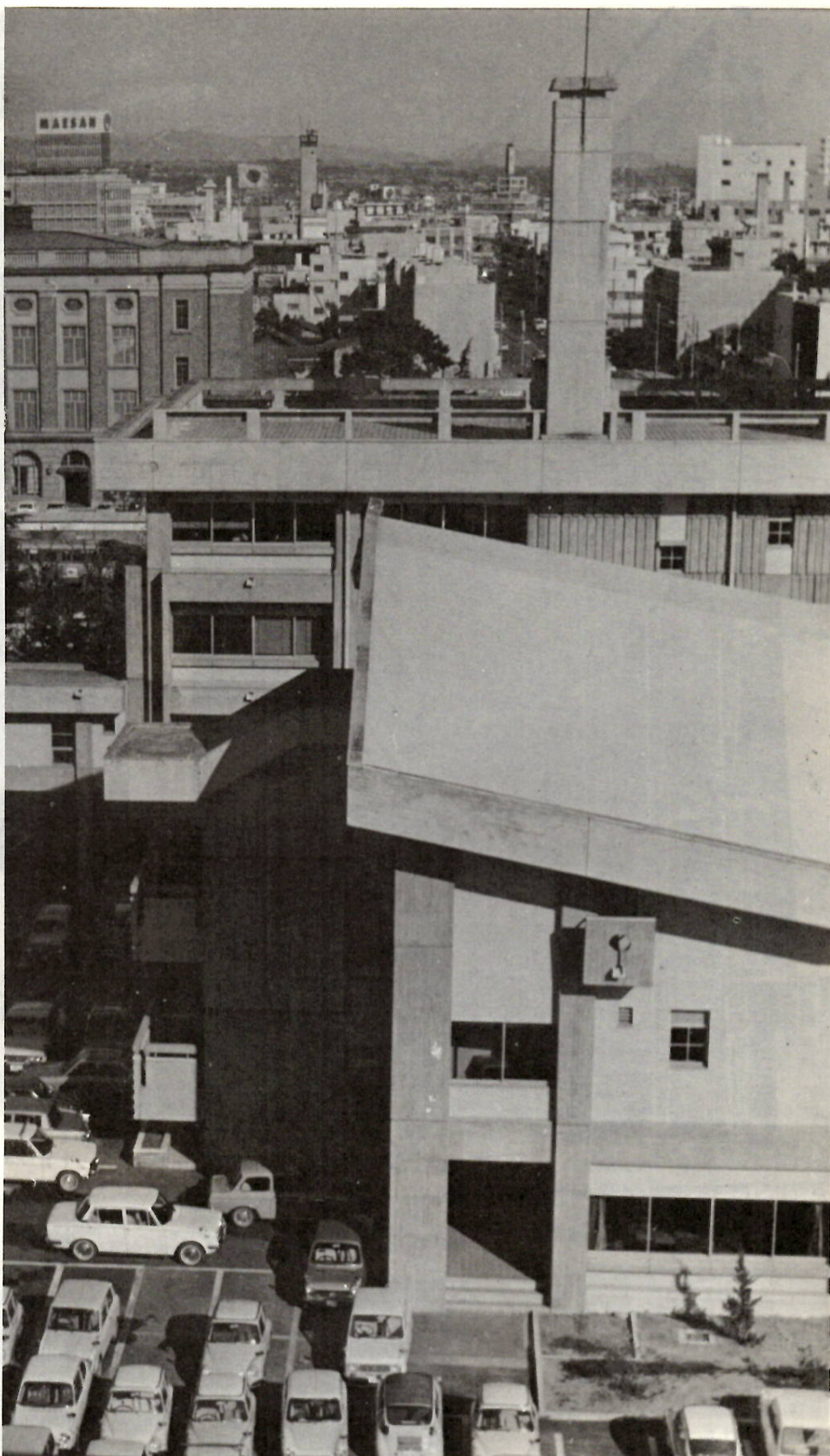
●道路舗装の重点―新市域へ

道路はまちの動脈といわれます。ところが、最近の急激な交通量の増大は、この大切なパイプの流れを悪くしています。市ではこのため、新しいパイプの役目として、市街地の現状をつなぐ道路網整備に着手、東部バイパス、大友西通り線をはじめ、四十四年度中に道路幅員や新設などを始め、二十八路線(六、六二九メートル)の工事を行なうてきました。

さらに市道の舗装も積極的に進め、アスファルト・セメント舗装を合わせて二百七十六キロメートルを四十四年度中に完了、市内の道路舗装率は七五％となりました。この数字は全国的にも、かなり上位にランクされます。橋の架け替えや新設は、上皇大橋・新町三丁目の新貝橋・東片貝橋と石間町をつなぐ竹橋など十橋、横断歩道橋も市民プール前・群馬大橋通り・琴平交番前などに施工、



市営住宅は広瀬団地に153戸が建設され、南橋団地・朝倉団地など既設のものと合わせて1,900戸となりました。(広瀬団地で)



都市改造・区画整理事業もさかんに行なわれ、近代的な町づくりが進められています。道路舗装も舗装率75パーセントに達し、44年中に276キロメートルの舗装が完了しています。

44年中に施行した橋のかげかえや拡工事、10橋、県道大胡川玉村線にかけられた筑井橋もそのひとつ。



8月

- 1日 ■全国高校総体はじまる(全国から一万五千人の参加選手・監督を集め、敷島公園の県営陸上競技場での総開会式をはじめとして約二十日間ひらく。本市では市民プール・県営スポーツセンター・前商・前工・市営競輪場などが会場となり、熱戦がくりひろげられた) ■天神山古墳発掘第四次調査終わる。
- 3日 ■市立図書館で「緑蔭図書館子ども読書会」をひらく。
- 5日 ■七夕まつりを協賛し児童公園で夜間開園 ■水道料金の口座振替制度はじめる。 ■空爆犠牲者慰霊祭を行なう。
- 6日 ■墓碑つき墓地为五十六基泉霊園につくる(建設費七百七十九万円)
- 7日 ■郷土のことにお答えする日(市立図書館) ■長期入院患者生活困窮世帯の夏季見舞(7日・9日の二日間)
- 8日 ■東部環状線の路面改修工事が完了(工費七十一万円)
- 13日 ■消防の消防訓練を実施(野中町桃木川西岸で。二百人が参加) ■中小企業労働福祉施設資金の貸付きまる(貸付額五百五十万円) ■第一次農業構造改善経営近代化事業として堤町に稚蚕共同飼育所が完成(事業費百四十八万円)
- 19日 ■植物・昆虫・貝類の鑑定会ひらく(市立図書館) ■全国いっせい量目取締り検査(三日間) ■スポーツ教室・弓道コースをひらく(毎週月・金、弓道場九月末まで)
- 20日 ■東部環状線の舗装工事が完了(工費一千七百万円)
- 21日 ■東・荒砥・木瀬地区で農業空中散布はじまる(水田千二百ヘクタールをヘリコプターで。事業費は五百四十万円)
- 22日 ■市議会全員協議会をひらき、総合整備十か年計画などを審議。 ■市立図書館で「宇宙の本のついで」をひらく。 ■アメリカカシロヒトリの防除はじまる(9月5日まで全市いっせいに)
- 26日 ■計量器の定期検査を実施(二十二日間) ■群馬県民基本本台帳協議会総会をひらく(水道会館ホールで二百七十名)
- 27日 ■「広報まえばし」が、全国広報コンクールで特選。日本一となり、新潟市でひらかれた全国広報大会の席上、自治大臣賞を受ける。
- 29日 ■成人学校第二期終了(百十七人に修了証)
- 31日 ■西片貝町に建設中の「こども公園」内の児童文化センター工事は完了(工事費四千四百五十万円)

9月

9月





下水道管は朝日町・城東町・住吉町・平和町を重点に14,000メートルを布設、その総延長は108,763メートルとなりました。



1日300トンのゴミ処理を目標に、六供町に新しい清掃工場の新設に着手しました。総工費は4億5千万円、46年度に完成予定です。上の写真は完成予定図です。



水道城南地区へ通水。よろこぶ二之宮小の子どもたち。



カやハエのいないまちに、屋外消毒が行なわれました。

“快適な生活環境、 をつくるために”

1日300トンのゴミ処理を めざして――

清掃工場の新設に着手
人口の増加と市民生活の向上につれ、ゴミ処理はますます重要な、それだけにむずかしい仕事になっています。前橋市の1日のゴミ排出量は、約140トン。現在の焼却炉では昼夜交替で作業を行なっても、もう飽和状態になっています。

そこで、市では1日300トンのゴミ処理を可能にする新しい焼却炉の建設に着手、六供町に4億5千万円の工費で46年度当初完成を目標に、ことしから工事をすすめています。なお、44年11月から新たに上新田・東片貝・小屋原・大利根第2団地を、45年1月から下細井町をゴミ収集区域に加え、全市のゴミ収集率は84.5%となっています。

急ピッチ、下水道事業

天川ポンプ場が運転開始
下水道は「見えない道路」といわれるほどたいせつですが、なかなか立ち遅れているのが現状です。その大きな原因は、きわめて多額の経費がかかることですが、市では43年度から下水道受益者負担金制度を取り入れ、急テンポでこの事業をすすめています。とくに広瀬川以北、端気川以南の各町、592ヘクタールの水洗化実現のため天川町に中継ポンプ場をつくり(3億円)その運転開始により、朝日町・城東町・住吉町・平和町の水洗化が、ことしから実現しました。これにより、下水処理場に、あらたに4万人処理の施設も増設され、下水道管渠の布設は42%の面積普及率となりました。

全市給水、あと一歩

“水道栓、5万世帯こえる”
新鮮できれいな水を――これが水道事業のモットーです。市の水道は、昭和4年から給水を開始、市街地はもとより、合併地域にも各水源を開発、100%給水を達成しましたが、昭和43年5月あらたに城南村が合併したため、その年9月から急ピッチで配水管布設に着手、44年4月から同地区の筑井町・小屋原町をかわきりに待望の給水がはじめられ、全市給水もあと一歩となりました。なお、給水世帯は5万世帯をこえ、給水人口は19万7千人、普及率は84.8%に達しています。

予防接種、すべて無料で

カとハエのいない町に
市では腸チフス・パラチフス・ポリオ生ワクチン・ジフテリア・百日せき・インフルエンザ・種痘など予防接種はすべて無料で行なっています。そのほか、結核検診・妊婦検診・乳児検診・歯科検診など各種の検診や、母子健康相談・老人検診なども行なっており、市民の健康向上につとめています。
国民健康保険事業は43年1月からオール7割給付を実施してきており、国民年金事業も順調にすすめられています。
カとハエのいない町に――市街区域の夜間消毒や全市域いっせいにねずみ駆除、DDT床下散布なども行なっています。

《市政日記》

11月



- 1日 市立図書館で『新聞雑誌の展示と講演会』をひらく。東部地区農業構造改善事業に着手(上泉町・五代町にまたがる地域二六ヘクタールを三年計画で。事業費は一億七千万円)
- 27日 国民年金業務優良市として厚生大臣表彰を受ける。
- 31日 前橋生鮮食料品総合卸売センター着工(片貝町・敷地面積七一、六一〇平方メートル、工費八億五千万円)
- 14日 前橋市畜産共進会を元総社町の家畜市場でひらく。土地改良・桑園改植に使用のためブルドーザー一台購入(四百九十七万円)
- 19日 消防秋の点検を敷島公園駐車場で実施、千百人が参加。
- 21日 成人学校第四期が開校(料理科・五会場)
- 24日 県外から市内へ就職した生徒の父・母を市へ宿泊招待。山形、岩手、新潟県などから。
- 25日 市立図書館で『新聞雑誌の展示と講演会』をひらく。
- 10日 前橋市発明考案展(12日までの三日間、三百六十点が出品)
- 11日 前橋まつり(民謡おどり大行進、鼓笛・吹奏楽大行進、仮装広告パレード、ミス万博パレードなど多彩な催しが、11・12日の二日間催された)
- 3日 市明くる正しい選挙推進員三百四十名を委嘱、記念講演会をひらく(群馬会館ホール)
- 1日 市立図書館で『新聞雑誌の展示と講演会』をひらく。東部地区農業構造改善事業に着手(上泉町・五代町にまたがる地域二六ヘクタールを三年計画で。事業費は一億七千万円)
- 27日 国民年金業務優良市として厚生大臣表彰を受ける。
- 31日 前橋生鮮食料品総合卸売センター着工(片貝町・敷地面積七一、六一〇平方メートル、工費八億五千万円)

10月



- 1日 44年産米の政府売渡数量きまる(十五万三千百俵・九千八百八十六トンで、対象農家は六千三百戸) 住民実態調査を全市いっせいに実施。(約三十日間で臨戸調査) 市民講座ひらく(演題「あ、クルマ日本」講師は千葉大教授清水馨八郎さん。群馬会館ホールで)
- 3日 市民講座(演題「70年問題の視点」講師は山崎芳郎さん)
- 5日 成人学校第三期開校(法律・民俗・孔版技術。編物科は9日から)
- 7日 市民スポーツ祭・町内対抗軟式野球大会ひらく(県営補助グラウンドに三六チーム参加、28日まで)
- 9日 肉用和牛を農家に貸付け(十七頭・二百七万円) 市庁舎前で梨の共進会をひらく。
- 10日 市民講座(演題「私の文学と人生」講師は作家水上勉さん)
- 17日 公職選挙法改正により選挙人名簿の定時登録を行なう(登録者八千七百人、11日から五日間の名簿を縦覧)
- 25日 県営スポーツセンターで(原価計算実務講習会(8日間) 報告二件を可決・承認)
- 22日 市議会九月定例会はじまる(会期六日間で、二十二議案・報告二件を可決・承認)
- 24日 市たばこ消費増収の販売促進大会をひらく(水道会館ホールで)
- 27日 市立図書館で『住宅の本のつどい』ひらく。
- 30日 小中学校で学力テストを実施。



●本市を主会場に● 全国高校総体「ひらく」 スタンドを埋めた二万人



皇太子・妃殿下も開会式にご臨席



問屋センターには市内の問屋59社が進出、1大問屋街ができました。(利根川西・問屋町)



近代的な工場が誘致され、明るい職場で多くの人たちが働いています。(2号団地N工場で)

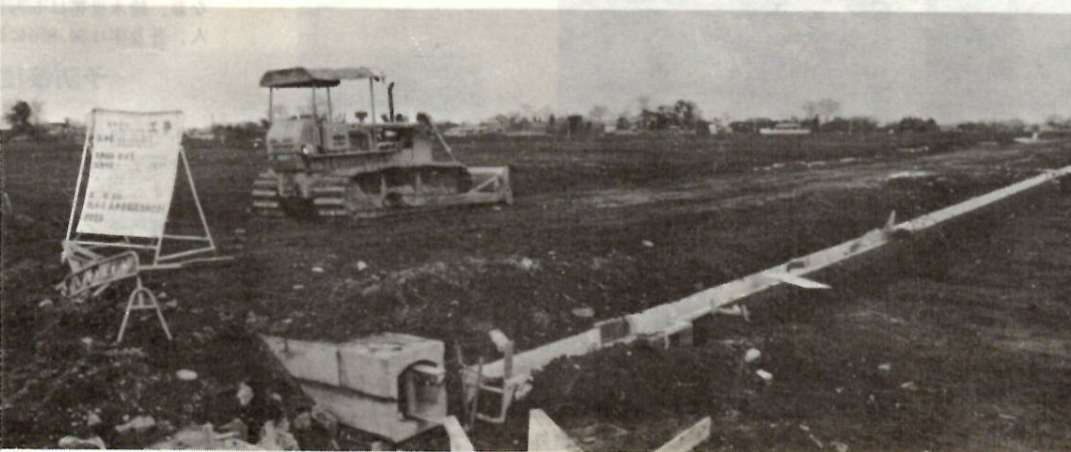
調和のとれた産業を 育成するために――

市内の問屋59社を結集 問屋センターできる

商工業の振興は、都市基盤の確立のうえで、重要な要素のひとつとなっています。そのため、市では従来から中小企業への資金融資や木工団地の造成、工場誘致など各種の施策を講じてきていますが44年度はとくに市内の問屋59商社をまとめ、大友町(完了後問屋町と地名も改められた)に、問屋センターをつくりました。工費15億円、118.8万平方メートル(3万6千坪)に、一大問屋街が誕生しました。

あたらしい農業へ

構造改善事業を重点に
第一次農業構造改善事業は40年度からはじめられ、現在、東北部地区(上泉・五代町など)城南部地区(富田町など)中部地区(江木・堤・東上野・女屋町など)など4地区で終了または継続中です。ほ場整備や、経営近代化施設の整備を中心に、事業費9億8千万円が見込まれ、45年度から実施の第二次計画と合わせて、「あたらしい農業への脱皮」が期待されています。



農業構造改善事業は各地で行なわれました。(南部地区ではほ場整備)

- 1日 ■市立図書館主催文芸講演会(生方たつみさん「急がない人生」)■城南部地区農業構造改善事業に着手(富田町六八・六ヘクタール、二年計画で事業費六千八百万円)

4日 ■投票区域を現行の四十八投票区から五十に改正。■実務簿記講習会(10日まで)

5日 ■群馬会館で、国民健康保険総合表彰式をひらく。

6日 ■中部地区農業構造改善事業を着工(江木町、堤町、東上野町、女屋町、小島田町、富田町にまたがる一八七ヘクタールの地域、二年計画で事業費は二億二千五百八十万円)■広瀬小学校新築工事を着工(鉄筋コンクリート三階建て、延べ二五三六平方メートル。普通教室十四特別教室三ほかで総工費八千万円)

■細井小学校改築工事を着工(鉄筋三階建て延べ一三三六平方メートル。普通教室六ほか、工費四千六百八十万円)■駒形小学校改築工事を着工(鉄筋三階建て延べ一九六六平方メートル。普通教室六ほか、工費三千八百六十万円)■若宮小学校体育館新築工事を着工(鉄骨平屋建て延べ六五三平方メートル)■永明小学校体育館新築工事を着工(鉄骨平屋建て延べ五七六平方メートル)■養護学校体育館新築工事を着工(鉄筋平屋建て延べ三三三平方メートル)■清里公民館新築工事を着工(木造平屋建て延べ三六六平方メートル、総工費九百七十二万円)

7日 ■成人学校第五期はじまる(ギター・版画・農業科)

8日 ■市立図書館で「公開討論会・読書とテレビ」を行なう。

17日 ■大室小学校プール建設工事を着工(二五メートル五コーラス、総工費六百五十万円)■神明幼稚園増築工事を着工(鉄骨平屋建て延べ五六六平方メートル、工費二百五十万円)■桃川小学校校舎改築工事を着工(鉄筋三階建て延べ一四二平方メートル。普通教室六ほか工費三千四百八十万円)

19日 ■群馬会館ホールで「市民音楽祭」をひらく。

20日 ■六供町に清掃工場を起工(敷地面積一、六九五平方メートルに一日三百トンのごみ焼却をめざして三年計画で着工。総工費四億五千万円)■総社町に防疫事務所を起工(鉄筋アロック建て延べ一六七平方メートル、工費五百五十万円)■市営住宅八十戸を起工。■厚生年金住宅を天川大島町、鳥羽町、上泉町に起工。■前橋と赤城の観光物産展を東京新宿二幸でひらく(25日まで)

22日 ■市立図書館で「宗教の本のついで」をひらく。

25日 ■新前橋土地地区画整理事業、上佐野・石倉線舗装着工(3月25日まで、工費一千五百六十万円)

27日 ■市議会教育民生委員会をひらき請願四件を審議。

29日 ■県婦人青少年センターに相沢忠洋さんを招いて「文化財講演会・文化財のついで」をひらく。

30日 ■畜産公害対策事業として、バキューム車九台を購入(三百四十万円)

1日 ■米の検査はじまる(20日間、十七万七千俵)■歳末たすけあい運動はじまる(30日まで)

3日 ■大友西通り線補修工事を完了(工費二百五十九万円)同改良工事第二・第三・第四工区に着工。

8日 ■老人福祉センター前の舗装が完成。■民俗調査はじまる。

10日 ■「前橋市立図書館友の会」が発足。会員九十二人。

17日 ■中央大橋起工式(県施工)■学校給食桂香共同調理場建設に着工(鉄骨平屋建て延べ二七八平方メートル、総工費千五百万円)

20日 ■市立図書館で「宗教の本のついで」をひらく。

12月



写真で見る・市政一年



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

写真説明

①大利根団地の子どもたちのために「ひまわり公園」着工②赤ちゃんコンクール③市民展ひらかれる④消防西分署大友町にできる⑤清里公民館が落成⑥東片貝町に生鮮食料品センター起工⑦後閑町の天神山古墳を発掘⑧北部区画整理事業に関連して下小出町地内の国道17号線を拡張



8月1日総合開会式での選手団の入場行進(県営陸上競技場で)



雨のなかでの子ども公園開園式

みんなの楽園

こども公園が完成

“交通公園”“児童文化センター”を合わせて、子どもの夢いっぱい

《市政日記》

- 22日 ■市議会十二月定例会(18日まで会期十日間、二十一議案・報告五件を可決、承認) ■芝生墓地三十八基つくる(九八万円)
- 27日 ■衆議院議員総選挙が執行される(投票率五九・五九%)
- 1月
- 6日 ■消防出初め式(敷島公園駐車場に消防車四十台・消防員千六百人が参加)
- 9日 ■初市(千二百軒の店がならび、入出三十五万人。)
- 15日 ■第二十二回成人式典(群馬会館ホールに七百五十人の成人者を迎えて挙行)
- 20日 ■技能功労者を表彰(古来からの伝統技術に生きてきた人)
- 24日 ■市立図書館で「俳句の本のつどい」をひらく。
- 2月
- 1日 ■一九七〇世界農林業センサス実施(市内農家九千戸対象)
- 3日 ■消防西分署大友町に落成(鉄筋二階建て延べ二九二平方メートル、総工費九百四十九万円)
- 5日 ■さちの池に桟橋と休憩所できる。(二百万円) ■生椎黄共進会ひらく(庁舎前広場で、4・5・6日の三日間) ■前橋市PTA大会(桃井小で)優良PTA・個人を表彰。
- 7日 ■県婦人青少年センターを会場に「青年のつどい」をひらく。
- 12日 ■東中学校プレハブ校舎新築工事着工(鉄骨平屋建て延べ二〇三平方メートル、工費三百八十八万円) ■桂萱中学校家庭科室新築工事着工(鉄骨平屋建て延べ一七八平方メートル、工費五百九十九万円)
- 16日 ■前橋家具新作発表見本市をひらく(木工センター) ■桂萱中学校家庭科室新築工事着工(鉄骨平屋建て延べ一七八平方メートル、工費五百九十九万円)
- 18日 ■総合農政対策はじまる(米の生産調整で、千三百二十五トンの減産、減産面積三四九・二ヘクタールとされる。)
- 19日 ■花の共進会をひらく(市庁舎で、出品百五十点)
- 25日 ■中小企業合理化資金貸付け(第二次) きまら(貸付額五百六十一万円)
- 3月
- (予定)
- 上旬 ■国民年金委員表彰式(水道ホール) ■芳賀小学校、永明小学校、養護学校体育館が完成。 ■神明幼稚園増築完成。 ■清里公民館新築完成。 ■市議会三月定例会ひらく(9日から23日まで会期十五日間) ■大利根団地内すみれ幼稚園が完成(百九十八万円) ■三俣町五号公園が完成(二百万円)
- 中旬 ■統計功労者を表彰。 ■東部地区(五代町・上泉町)の農業構造改善事業おわる(事業費は三億一千五百万円)。 ■城南地区北部(富田町)事業完了(事業費一億七千五百万円)。 ■広瀬団地に11号公園・12号公園が完成(工費四百五十万円) ■大利根団地にひまわり公園完成(工費百八十八万円)
- 下旬 ■元総社保育所改築工事完了。 ■優良納税貯蓄組合・納税功労者を表彰(水道会館ホール) ■市内の優良従業員を表彰(水道会館ホール) ■大友町西通り線改良工事おわる(工費六千五百万円) ■敷島公園整備工事おわる(五百六十万円) ■母子住宅が完成。 ■大室小学校プールが完成。 ■広瀬小学校校舎(44年度分)が完成。 ■細井小、駒形小、桃川小学校校舎改築工事が完成。 ■桂萱中学校家庭科室できる。 ■学校給食桂萱共同調理場できる。 ■市の健康優良児を表彰。 ■国保制度改正により国保委員を解散。 ■芳賀第三水源が完成(勝沢・小神明・上細井・青柳・竜蔵寺町と南橋団地の一部に給水、工費一千六百万円)

お知らせコーナー



店舗近代化資金を融資します

申し込み4月25日まで

市では中小事業者の店舗および商店街協同組合・振興組合の共同施設近代化資金を次のとおり融資します。

融資を受けられる人 原則として、市内で1年以上の営業実績をもつ卸・小売業・サービス業(洗たく業・洗髪業・美容業)および旅館業(ただし普通旅館)を営む会社または個人で、次の要件をそなえていること。①資本金または出資の総額が1千万円以下の会社②常時使用する従業員が30人以下の会社または個人③法にもとづく商店街振興組合・協同組合。

融資の条件 ①中小事業者の行なう店舗の増・改築および店内施設の増設資金②商店街協同組合・振興組合の行なう共同施設資金③組合員の必要とする設備資金を転貸するための資金④融資限度額は会社または個人には150万円以内(増額予定)振興・協同組合には500万円以内(増額予定)⑤融資期間および返済方法は最高5か年で1年以内の据置き均等月賦返済⑥融資利率は年7分3厘以内⑦担保および保証人等については取扱金融機関の定めるところによりしますので、事前に相談ください。希望者は近代化計画申請書に計画平面図、カタログ、見積書、決算諸表(貸借対照表、損益計算書)地主、家主の承諾書を添付し市役所商政課(電話24局1111内線249)へ提出してください。

農政講習会ひらく 26日水道ホールで

市の主催、県農業会議所・市農業会議の後援により、次のとおり開催されます。

▽日時 3月26日午後1時。

▽会場 水道会館ホール

▽演題 「新都市計画と近郊農業の振興について」

▽講師 農林省開発課課長補佐 大楠一成さん

美佐子ちゃんを救って

表町二丁目二五一一七、見城康秀さん二女美佐子ちゃん(五歳)は、先天性心臓病のため六月に群大病院で手術をする予定です。この手術のため、新鮮な血液(約四〇cc・おとな二十人分)が多量に必要です。ところが、美佐子ちゃんの血液型はA型で、この型の人は、ひじょうに少ないのです。親戚や知人をくまなく調べてみましたが、この型の人は二、三人しかみつかりません。A型の人で、美佐子ちゃんのために献血をしてくださるかたがあらましたら、見城さんまでご連絡ください。電話24局三一一七三(平日午前九時午後六時まで)は呼び出し、日曜と夜間は直接かかります。



あたにかいこころ

子ども用衣類三十点 朝日町四丁目二七一九 阿部三雄さんから。

ランドセル二十九個 住吉町一丁目十五一九 旭屋さんから。

現金三十万円 群馬銀行から児童文化センター科学展示室用ベータープラネターウム一基購入費として。

現金六万円 佐田建設社長佐田一郎さんから児童文化センター熱帯魚・観音魚・水槽設備費に。

ロータリーエンジン模型一式(八万五千円相当) 天川町四五八マッダオート群馬河島健三さんから児童文化センター科学展示室用として。

トルク・コンバーター模型一式(九万三千円相当) 高崎市東町群馬トヨタ株式会社横田喜好さんから児童文化センター科学展示室用として。

募集します

競輪場臨時作業員

競輪場では、次のとおり臨時作業員を募集します。

①一般従事員(四十五歳までの女子) 日給八百五十円。②自衛警備員(五十歳までの男子) 日給千四百五十円。③場内整理員(六十歳までの男子) 日給九百五十円。④特日制従事員(パート) 四十五歳までの女子で日曜・祭日のみ勤務するもので諸手当は支給しません。日給千円。

面接日と場所 三月二十七日午後一時競輪場内。希望者は三月二十六日までに履歴書を事業課(大手町三丁目十五・十五、競輪場内)へ提出してください。

派遣地域・派遣人員・期間 △北陸△八月下旬、一名、約二か月、海外派遣員。△オセアニア△九月下旬、一名、約二か月、一般員。

45年度(第12回)青年海外派遣団員募集

総務府では、日本の青年に広く海外の実情を視察研究させ、訪問の社会開発活動の実施視察を行ない、国際親善をはかるため次の方法で派遣団員を募集しています。市内居住青年の応募を期待しています。

年齢 昭和十九年四月一日より同二十五年四月一日(二十歳から二十六歳までの人) 募集期間 三月一日より四月十日 応募書類 応募書類に選考についての詳細は、市教育委員会青少年室へお問い合わせください。

4月の検診日

母親学級 四月七日・十四日・二十一日・二十八日、いずれも午後一時から四時まで。前橋保健所でひらきます。対象は妊娠四か月から八か月までの人。

妊婦検診 四月十六日午後一時から二時まで、前橋保健所。妊婦検診は六百円です。検査希望者は、正午までに会場へお出かけください。(ほかの地区の日程は、追ってお知らせいたします)

婦人科(子宮)ガン検診 四月二日第七中学校で上川淵

灰・不燃物・キケン物収集日

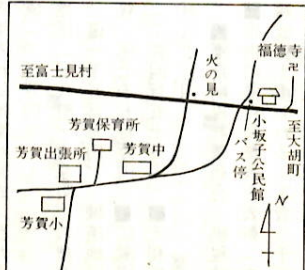
4月分

月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4
		若宮町1.2.3.4丁目 下小出町・北代田町 上小出町・南橋町 青柳町・下細井町	日吉町1.2.3.4丁目 城東町1.2.3.4.5丁目	大手町1.2.3丁目 千代田町1.2.3.4.5丁目	朝日町1.2.3.4丁目 天川原町・天川町
6	7	8	9	10	11
本町1.2.3.4丁目 表町1.2丁目 天川大島町・野中町	南町1.2.3.4丁目 紅雲町1.2丁目 六供町・上佐島住宅	三河町1.2丁目 文京町1.2.3.4丁目 駒形町・東善町・小 屋原町・有料事業所	江木団地・三保町・下 沖町・幸塚町・西片貝 町・東片貝町・上泉住 宅・大友町・青梨子住 宅・鳥羽町・総社町全 域	石倉町・古市町・江田 町・小相木町・朝日が 丘町・光が丘町・箱前 田団地・元総社町・上 新田町・大利根2号団 地・大利根町1.2丁目	上朝倉町・朝倉団地 後閑住宅 広瀬団地 有料事業所
13	14	15	16	17	18
岩神町1.2.3.4丁目 昭和町1.2.3丁目 敷島町・緑ヶ丘町・ 荒牧町	国領町1.2丁目 住吉町1.2丁目 平和町1.2丁目 有料事業所	若宮町1.2.3.4丁目 下小出町・北代田町 青柳町・上小出町・ 南橋町・下細井町	日吉町1.2.3.4丁目 城東町1.2.3.4.5丁目	大手町1.2.3.4丁目 千代田町1.2.3.4.5 丁目	朝日町1.2.3.4丁目 天川原町・天川町
20	21	22	23	24	25
本町1.2.3.4丁目 表町1.2丁目 天川大島町・野中町	南町1.2.3.4丁目 紅雲町1.2丁目 六供町・上佐島住宅	三河町1.2丁目 文京町1.2.3.4丁目 駒形町・東善町・小 屋原町・有料事業所	江木団地・三保町・下 沖町・幸塚町・西片貝 町・東片貝町・上泉住 宅・大友町・青梨子住 宅・鳥羽町・総社町全 域	石倉町・古市町・江田 町・小相木町・朝日が 丘町・光が丘町・箱前 田団地・元総社町・上 新田町・大利根2号団 地・大利根町1.2丁目	上朝倉町・朝倉団地 後閑住宅・広瀬団地 有料事業所
27	28	29	30		
岩神町1.2.3.4丁目 昭和町1.2.3丁目 敷島町・緑ヶ丘町・ 荒牧町	国領町1.2丁目 住吉町1.2丁目 平和町1.2丁目 有料事業所	若宮町1.2.3.4丁目 下小出町・北代田町 青柳町・上小出町・ 南橋町・下細井町	日吉町1.2.3.4丁目 城東町1.2.3.4.5丁目		

伝説とその付近

紅龍の唐紙(小坂子町)

先日の雪をみて小坂子町に伝わる次のような話を思い出しました。「小坂子の寺に、上り竜・下り竜の唐紙があり、昔から村人が集まり芝居をする習わしがあった、この道具がここにある。」



こうしたお祭りの時、この唐紙が出されるが、冬は雪、夏は大雨が降るといわれている。ある春の日、前橋から役者を呼び芝居をしたが、この時も人々は、きょうこそはだいたいようぶだろうと芝居を見ていた。だんだん空は曇り、ついに雪が降ってきたという「ことずす」(芳賀村誌)。

そこで小坂子公民館の裏にあるお寺、金竜山実相院福徳寺をたずね、住職の西沢さんに案内をこい本堂わきの物置の中を見せていただきました。そこには古びた唐紙がなんと六十枚もあり、一つ一つを見る間もななく、ついに紅龍の唐紙を見つけたことはできませんでした。西沢さんは「竜の絵はあつたかどうか、よく覚えていませんが、ほらここに二つ石があるでしょう。舞台を建てた時の台石ですよ。」



いわれるとおり、直径五十センチほどの石と、やや大きめの石が二つあります。間口六間の舞台がここに建てられたのだそうです。また、同町の松倉保男さんは、「わたしがまだ子どものころでして、ハネ末でつくられたこの舞台で、よく義経千本桜や太閤記がかりに見えたもので、その時たしか下座のところに竜の彫りものが、いつもかけてありました。この竜が出るとうしぎに雨が降って、三日上演するのに十日ものびたものだ。」

見物人といえは、イタミダルをたが、目的の紅龍の唐紙はついにみるこができませんでした。小坂子公民館といえは、この地区の新生活運動の中心的役割りを果たしており、壁にその要綱が掲げてありました。たしか農家定休日設けたのは、この地区が最初のことと記憶しています。

火災にあった芳賀中もその部分は鉄筋校舎となり、体育館がそのすわきにあります。市街地を眼下に見下ろす風情はまた格別なものがあります。

【写真は地芝居が行なわれた福徳寺】